

工場の衛生確認(生物的危害要因)

おすすめの活用方法

工場診断に加えて
環境評価への活用



こんなお悩みをお持ちのお客様におすすめです

『工場診断メニュー』で
工場内の改善をした
けど、環境評価もして
改善したいなあ…

『工場診断メニュー』で
工場内の改善をしたけ
ど、改善状態を客観的
に(検査で)確認したい
なあ…

『工場診断メ
ニュー』で工場内の
改善をしたけど、
その改善活動を取
引先にアピールし
たいなあ…



◇コンサルティング支援内容

▶ 弊社の支援メニューに、お客様の工場の食品安全・食品衛生を中心に、総合的かつ客観的な視点で工場診断を行い、改善箇所を提案させていただく工場診断メニューがございます。

工場診断メニューとあわせて本支援を活用していただくことで、環境(微生物)の客観的な改善結果を確認することが可能となり、改善効果をより感じていただくことができます。また、第三者機関による客観的な微生物検査結果があることで、お客様の取引先様に対して、お客様の改善活動を、より効果的にアピールすることができます。

◇微生物検査

①拭き取り検査・・・一般生菌、大腸菌群、黄色ブドウ球菌

②落下菌検査・・・一般生菌、真菌

※製品微生物検査は必要に応じての実施となります。

工場診断に加えて環境評価への活用

本支援のたまかな流れ

お問い合わせ
せはこちら

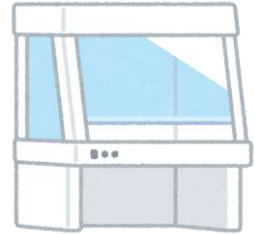
①

工場診断を実施する中で、工場内の管理状態などを参考に、拭き取り、落下菌の検査箇所を決定します。



②

工場診断の実施後、改善前の評価として、拭き取り、落下菌の検査を実施します。



③

お客様の方で、改善対応を実施していただき、改善後の評価として、同じ個所を拭き取り、落下菌の検査を実施します。



④

改善前後の結果を比較・考察した、報告書を送付させていただきます。

